

# 奨学金について



# 留学までの経緯

- 学生としてアメリカで学びたかった。
  - 研究の最先端
  - 方法論
  - 世界を広げる  
(研究の視野, 人脈)

# CONTENTS

- 奨学金について

- 費用

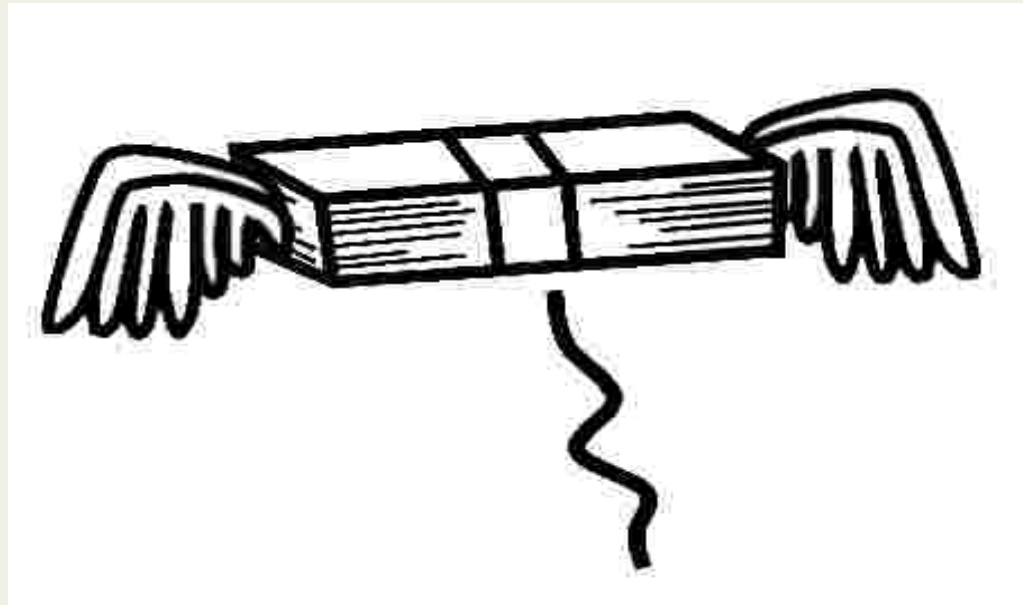
- 日本で奨学金を獲得して留学する

- アメリカで奨学金を獲得する

\*専攻分野， 大学や現在の雇用形態によって詳細は異なります.

# お金の話

- 費用---かかります. . . .
  - ◆授業料 (\$30,000/year)
  - ◆生活費(例 rent:\$700~1100/month)
  - ◆教科書代
  - ◆余暇etc.



実は. . .

(日本からの) 奨学金は必ずしも必要ではありません.

- ◆ 米大学院のオファーするパッケージ
- ◆ TA, GSI, RAといったもの
- ◆ 米での奨学金をあてるetc.

もちろん, 奨学金を得て留学した方が心強い.



では奨学金出願するにあたり  
何がキーか？

何を意識してプロポーザルを書くか？

- 「アメリカ大学院に合格しそうな人」という印象を持ってもらうこと！

- 今までの業績（論文，受賞，成績など）
- （強い）推薦状
- 説明力，説得力
- やる気，熱意（のようなもの）

「アメリカ大学院に合格しそうな人」という印象を持ってもらうこと！

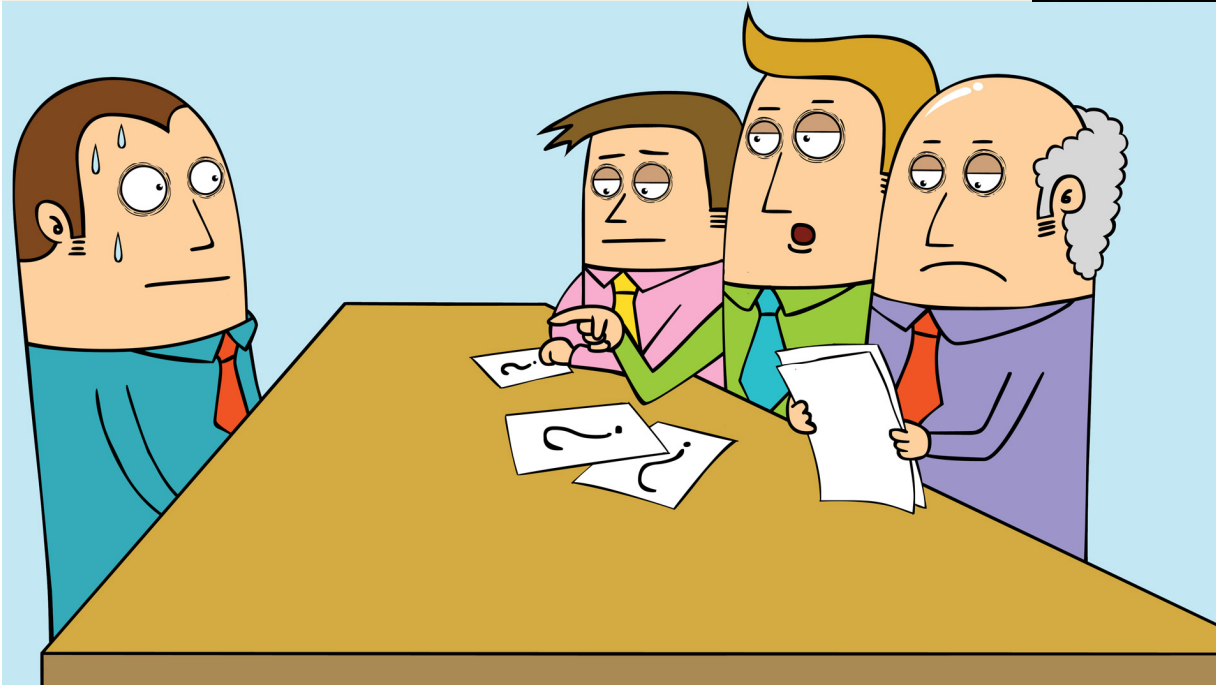
- 私がやったこと

- 経験者に話をきく
- 出願書を見てもらう
- 奨学金団体の理念, ポリシー, 経緯を確認.
- 研究も.



# 経験

- インタビュー  
– 英語, 日本語, スカイ



# (おまけ)アメリカでの資金確保

- 機会は多々あるので目を光らせておくこと
  - 研究方面
    - Departmentからのメール, 掲示板, 周囲の人の話.
    - 特にサマー期間は多い.
    - applicationは自分の研究を見直すよい機会
    - E.g., Michigan summer program (ICPSR), Berkeley summer grant.
  - 生活方面
    - Graduate divisionのHP